

神様からいただいた、人生最後のご褒美！

「こんな幸せな、天国のような生活ができるなんて」救世軍の老人保健施設グレイスに入所した母は、何度も感謝の言葉を口にしていました。ちょうど二年前の五月、母秀子は九十七歳で天国に帰って行きました。今振り返ると、母の人生の最後に、神様がご褒美をくださったような、グレイスでの日々でした。

生きるこの意味を求めて秀子は一九一九（大正八）年、中国の青島で生を受けました。秀子の父方の親族は、お茶の水のニコライ堂建立に尽力した人の一人だったそうです。秀子が幼い頃父が病を得て帰国。療養を経て回復した父は、ラジオの販売を始めました。けれども、しばらくは元気がなかった父が再び病に倒れ、

娘五人息子二人の七人の子どもを抱える生活は苦しくなりました。そこで、長女であった秀子は十九歳の時、上海の日系企業で働き始めたのです。上海で必死に働いて仕送りをしていましたが、働く喜びを感じる事ができませんでした。会社の寮では、怖い思いもし、生きている意味さえ失い、自殺を考えたこともあったそうです。そんな時に思い出したのが、東京にいたときに赤羽駅前「神は愛なり」と路傍伝道をしてきた人に言われた「とにかく教会に行きなさい」という言葉でした。

「イエスの血、すべての罪より我らを潔む」（ヨハネの第一の書第一章7節・文語訳聖書・イエスが十字架で流された血によって、私たちのすべての罪が清くされる、の意）という聖書の御言葉が迫ってきたそうです。秀子は、「潔められた！」と、嬉しさにあふれて教会に行きました。すると、松村牧師に祈るよう勧められ、そのとおりにすると、天から聖霊が降ってきて秀子を包み、全身に聖霊が満ちていくのがわかった、ということでした。

その素晴らしい経験を通して、ますます信仰に励み、仕事をしながら、キリスト教の伝道にも熱心になったのでした。そのころの伝道で導かれた方は、その後、生涯秀子を師として大切に思ってくれていた、と聞いています。

献身者としての出発 イエス様の救いを一人でも多くの人に、という思いは、弟妹への仕送りの必要もなくなったころから伝道者として生きる決意へと導かれました。戦前に帰国して以来お世話になっていたホーリネス教会の星野栄一牧師の養女になり、神様に生涯を献げる、「献身者」として新しい人生を始めました。二十九歳の時です。しばらくの学びを経て、島根県の濱田にある、小さな教会に単身で赴任。小さな教会ですから苦勞も多かったようですが、一生懸命伝道するうちに、一人の若い女性、英子さんが教会に来るようになりました。彼女は、結核に倒れ、死を覚悟するような状態にお



母 島崎秀子の生涯を通して…… 豊城 みや子

母は、「何をしても献身は変わらない」と日々聖書を読み、祈りながら父を支え、子どもたちを育てていました。私は、子どもの頃は教会に行くのが大好きでしたが、中学の頃はしぶしぶ通っていました。そして、高校に入ると、部活もあって教会に通わなくなっていました。そんなある時、母が当時通っていた教会に、母と一緒に教会に行くと、喜ばせようという気持ちでついて行きました。すると、私はその教会の雰囲気とて、私も気が入り、通うようになりました。そこには、高齢の牧師夫妻の他に、独自の女性教職者がおられ、優しく私を信仰に導いてくださいました。ところが、優しく導いてくださったその方が、母が濱田にいた間に教会に導かれた英子さんだったことを後に知りました。母は何十年かぶりに彼女に会うためもあって、その教会に通ったのでしよう。母が導いた女性が私の信仰を導いてくださるなんて、本当に神様のなさることは素晴らしいと思います。

晩年を迎えて 九十三歳になった母は、それまで「最期まで自宅でいたのですが、繰り返し倒れては救急車で病院に運ばれることが重なるようになり、退院後三日で倒れて病院に運ばれた時、とうとう「もう無理かも」と言ったのです。それでは、施設を探さなければ、と動き出して思い出したのが、それより約十年ほど前に亡くなった父が一度入院したことのある救世軍ブース記念病院でした。父はブース記念病院でキリスト教の病院の心地よさを感じていました。その後、父は他のキリスト教系の病院で、本当に良い最期を迎えることができました。それもあって、私は自分の家からも通いやすい場所を調べ、ブース記念病院に併設している老人保健施設グレイスを見つけると「こしかな」と思いました。直接入所申し込みの電話をしてみましたら、入院していた病院のケースワーカーを通じて申し込むよう言われました。すると、

一生懸命伝道した両親のことを、神様はずっと祝福してくださっていると思えました。そして、「イエスの十字架は自分の救いのためである」と信じた人の生涯を、神様は必ず最期まで導いてくださるに違いない、と確信したのでした。娘としての私の願いは、両親が最期まで神様の祝福を感じながら、天国への希望をもって、安心して過ごせるようにしてあげたい、ということでした。

入院。病床ではいつも手を合わせて祈っていました。「御国に帰ります。天のお父様のところに行きます。天国に行きます」と、死をまったく恐れる様子はありませんでした。そして、約一カ月後に天に召されました。葬儀は、ブース記念病院内のチャペルで、大塩牧師に司式をしていただきました。グレイスに入所できたことは、神様が、周りの人のために生きてきた母に、最後のご褒美をくださったように感じています。（キリスト兄弟団三鷹教会 信徒）

結婚してしばらくは夫婦で教会の働きをしていたそうです。秀子はよく、濱田での伝道の日々を振り返って、大変だったけれども楽しかった、と話していました。賀川豊彦牧師をお招きして特別集会をした話なども聞きました。

母は、「何をしても献身は変わらない」と日々聖書を読み、祈りながら父を支え、子どもたちを育てていました。私は、子どもの頃は教会に行くのが大好きでしたが、中学の頃はしぶしぶ通っていました。そして、高校に入ると、部活もあって教会に通わなくなっていました。そんなある時、母が当時通っていた教会に、母と一緒に教会に行くと、喜ばせようという気持ちでついて行きました。すると、私はその教会の雰囲気とて、私も気が入り、通うようになりました。そこには、高齢の牧師夫妻の他に、独自の女性教職者がおられ、優しく私を信仰に導いてくださいました。ところが、優しく導いてくださったその方が、母が濱田にいた間に教会に導かれた英子さんだったことを後に知りました。母は何十年かぶりに彼女に会うためもあって、その教会に通ったのでしよう。母が導いた女性が私の信仰を導いてくださるなんて、本当に神様のなさることは素晴らしいと思います。

ケースワーカーも驚くほど様々なタイミングが良かったようで、入所できる運びとなりました。当時、かなり弱っていた母でしたが、グレイスでは礼拝もあり、本当によくしていただき、「嬉しい、嬉しい、こないことがこれから始まるとは思わなかった」とだんだん元気になっていきました。



娘としての切なる祈り 十七歳で洗礼を受けた私は、二十五歳の時に、「イエス・キリストの十字架こそが、信仰の中心である」と、十字架の本当の意味を理解しました。独立した父の仕事は順調で、朝早くから夜遅くまで両親は本当に毎日忙しく働いていました。やがて、年老いていく両親の姿を見るうちに、かつて濱田の小さな教会で、貧しいながらも

天国に召される数日前の母と



島根県濱田の教会で奉仕していたころの母（中央和服の左隣の女性）

母は、「何をしても献身は変わらない」と日々聖書を読み、祈りながら父を支え、子どもたちを育てていました。私は、子どもの頃は教会に行くのが大好きでしたが、中学の頃はしぶしぶ通っていました。そして、高校に入ると、部活もあって教会に通わなくなっていました。そんなある時、母が当時通っていた教会に、母と一緒に教会に行くと、喜ばせようという気持ちでついて行きました。すると、私はその教会の雰囲気とて、私も気が入り、通うようになりました。そこには、高齢の牧師夫妻の他に、独自の女性教職者がおられ、優しく私を信仰に導いてくださいました。ところが、優しく導いてくださったその方が、母が濱田にいた間に教会に導かれた英子さんだったことを後に知りました。母は何十年かぶりに彼女に会うためもあって、その教会に通ったのでしよう。母が導いた女性が私の信仰を導いてくださるなんて、本当に神様のなさることは素晴らしいと思います。

娘としての切なる祈り 十七歳で洗礼を受けた私は、二十五歳の時に、「イエス・キリストの十字架こそが、信仰の中心である」と、十字架の本当の意味を理解しました。独立した父の仕事は順調で、朝早くから夜遅くまで両親は本当に毎日忙しく働いていました。やがて、年老いていく両親の姿を見るうちに、かつて濱田の小さな教会で、貧しいながらも

娘としての切なる祈り 十七歳で洗礼を受けた私は、二十五歳の時に、「イエス・キリストの十字架こそが、信仰の中心である」と、十字架の本当の意味を理解しました。独立した父の仕事は順調で、朝早くから夜遅くまで両親は本当に毎日忙しく働いていました。やがて、年老いていく両親の姿を見るうちに、かつて濱田の小さな教会で、貧しいながらも

娘としての切なる祈り 十七歳で洗礼を受けた私は、二十五歳の時に、「イエス・キリストの十字架こそが、信仰の中心である」と、十字架の本当の意味を理解しました。独立した父の仕事は順調で、朝早くから夜遅くまで両親は本当に毎日忙しく働いていました。やがて、年老いていく両親の姿を見るうちに、かつて濱田の小さな教会で、貧しいながらも



天国に召される数日前の母と



母の教会に導かれた女性たち

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。